

「今後のマイマイ保全の取組やネズミ対策に向けた」アンケート集計結果

アンケート調査票回収方法

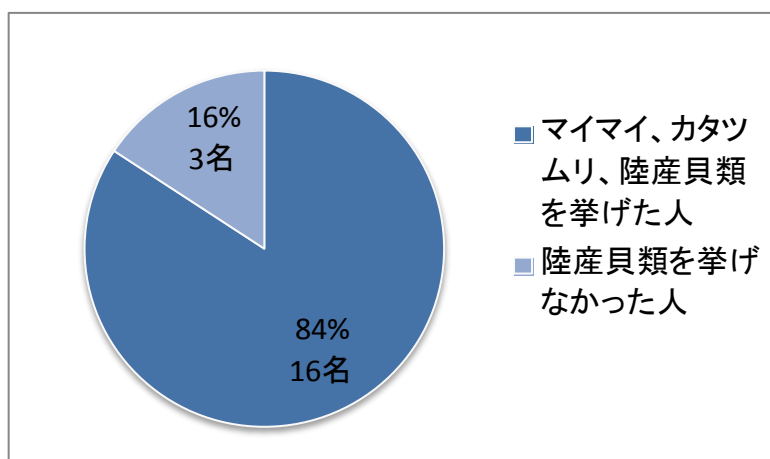
5月6日開催兄島視察会終了後に参加者が記入・回収

(環境省小笠原自然保護官事務所ポストへの投函、6日ワークショップ持参予定だったが回収数がゼロであったため、兄島視察会参加者に視察終了後に記入・回収)

送付数	
回収数	19
回収率	

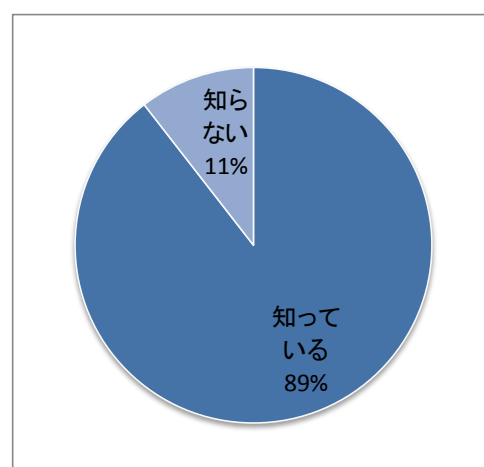
1. 小笠原諸島の自然について

1) 小笠原の島の中に暮らしている「生きもの」といえば、何を思い浮かべますか？



2. 小笠原の自然を守る取組について（特に、マイマイの保護や、ネズミ対策について）

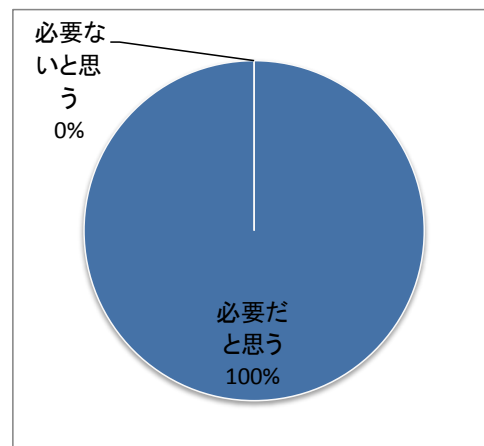
1) 小笠原には、島にしかない貴重な陸産貝類（カタツムリ・マイマイのことです）が生息しています。マイマイを守るため、無人島でネズミ駆除が行われていることをご存知ですか？



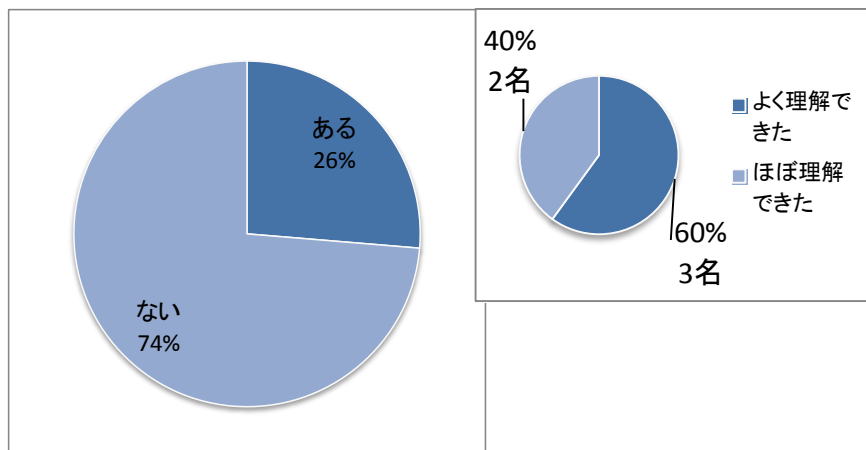
2) 小笠原固有の陸産貝類の保護は、必要だと考えますか？

<必要だと思う理由>

- 島の大切な宝物。絶滅させてはいけないと思う。
- 小笠原にしかないし、世界遺産になった理由でもあるから
- 人為的な理由で減らしてしまったので、対策は必要だと思う
- 小笠原にしかない固有のものを実際に見て、種類の多さや様々な様子に関心をもったので、この貴重な生物を保護していくことは必要だと感じました。
- マイマイが貴重だから、せっかく今いるものなので残せたらいいなと思う。



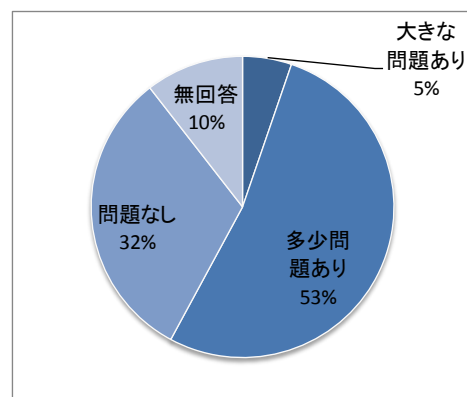
3) マイマイの保全や、ネズミ対策に関する住民向けの説明会や傍聴可能の会議に出席したことがありますか？



<理由や感想など>

- 父島のネズミ対策も同時に考えるとアピール性あると思います。
- ネズミ駆除をしながら固有の生物も守らなきゃいけないという難しい中、島民の意見も聴いていてありがたいと思いました。
- たくさんの人に本物のマイマイを見てもらえてよかった。どうやってマイマイを守っているか分かった。
- 兄島に来たことがあったので、また関係の仕事をしていたので背景が分かっていたから。
- 事前調査が不十分なまま対策を進めていると感じた

4) 無人島で行われているネズミ駆除に関して、問題があると思われませんか？



<大きな問題あり：理由>

- 島の生態系における殺鼠剤の影響が島全体に周知されていない

<多少問題あり：理由>

- 急ぐ必要があると思います。
- 早く効果的な駆除を始めてほしい。
- かごで捕獲は時間がかかりすぎる。そのうちにどんどん増えてしまうので、もう少し効率のよい方法を。殺鼠剤も1年おきに、一定期間で空中散布はありかと思う。
- 効果が分からないまま実施のみをしている印象を受けます
- すべて駆除することができるのだろうか、疑問に思いました。
- ネズミがいなくなることによる影響はないのか？駆除してもいいのか？人間が生活するうえではゴキブリ等もわずらわしいですけど。
- ネズミを食べる動物(ノスリ)に害がないかを、何年か調べる必要があるのでは。

<問題なし：理由>

- 現状はこの方法しかないのでは
- その島の生態系に影響がないならば問題ない
- 人が持ち込んで本来の生態系を壊しているのでは

兄島視察会終了後の参加者の感想

日時：平成27年5月6日（水・祝） 7：30～15：00

場所：兄島滝之浦～台地上

参加者：20名



主な感想

マイマイに関するもの

- 小さなマイマイを見たのは初めてでよかった。自分たちに何ができるか、これから考えたいと思った。
- これまではそれほどマイマイを見ようとしていなかったが、結構容易に見ることがわかった。
- マイマイがネズミやアノール対策されているところで見られ、(対策の効果があることがわかって) よかった。
- マイマイをたくさん見ることができてよかった。
- マイマイの数や種類が多かったことに驚いた。
- 兄島とマイマイを初めて見て、その小ささに驚いたと同時に、兄島でマイマイを守っていることを実感した。
- 島在住 18 年、兄島に初めて登り、マイマイも初見。今までは興味がなかったが、兄島に登ったことで興味も出たし、大切にしたいと思った
- 実際に兄島マイマイを見たことが無く、世界遺産との関連がピンとこなかった。有人島とは違い貴重な生物がおり、視察会を通して、守るべきものや兄島の保護の必要性が分かった

保全活動全体に関するもの

- 初めて兄島の上のまで登った。頂上から電気柵を見て対策の大変さに感心した。
- 人工物の多さに驚いた。電気柵にびっくりした。
- これまではアノール対策が不十分なんじゃないかと思っていたが、電気柵の実物を対策の大変さが実感できた。
- 人の手で絶滅させることは難しいことが分かる。アノールを絶滅するのはむずかしいと思う。
- 固有の生物がいるのがわかってよかった。
- 兄島が大変なことになっているといわれても、実際に兄島に来てみないと分からないことが多いので、来てよかった。
- 普段は作業員と入ることしかないので今まで気づかなかった事、知らなかった事を見ることが出来た。
- 電気柵施工箇所の危険度が高い工事だったことが分かった。機会がないと来れない場所でものを見られたのが良かった
- 実際に兄島に登ったことで、兄島での作業員の苦勞が分かった。
- アノール柵の壮大さに圧倒された。作るのは途方もないことだと思う。
- 人によって持ち込まれたものを人がどうにかするには手に負えない状況が分かった。

その他

- 個人的には矮性低木林に感動した。大切にしないといけないと感じた。ガイドをしているが、ツアーで簡単に登れるところではないので、もしこのような企画をやるなら、会社側で篩にかける必要があるだろう。
- 1年前に兄島に来た時よりも防草シートが増えて歩きやすくなっていた。
- 専門的な話をたくさん聞くことができた。忘れるかもしれないけれど、体験できたことで印象に残った。
- とても小さい生物がメインになっていることがわかって印象的だった。
- 思っていたよりもハードだった。固有種など、今までは単語しか知らなかったが保護しないといけないということが分かったし、今後、仕事や生活の中でも注意しようと思った。
- 参加者が、固有種・外来種などの単語を使うことにびっくり。外来種の駆除は兄島生態系全体を見ながら手伝いたい。
- 過去に参加したものと違ったルートで歩いて良かった。固有の生物を見る機会がもっとあれば良い。見られるものが違うと思うので、違う季節にも来てみたい
- 兄島で実施されている仕事分かった。世界でここだけのものを見る事が出来た。小さい生き物が多いので、説明用に拡大写真などがあればよいのではないかな。
- 普段行けない場所で、普段見られないものを見たかったが、それが達成出来たので良かった。



水生生物の紹介



マイマイの観察



マイマイのネズミ食害痕



滝之浦でのまとめ